

読む人の幸せを心に願って作る

喜びのタネまき新聞

No.
625

〈お便りは心を豊かにする〉

全国のお客様から、ダスキンやミスタードーナツについて、お褒めやお叱りのお便りをいただくことがあります。いただいたお便りは、必ず担当部門と経営陣が内容を確認し共有しており、中でもこの「喜びのタネまき新聞」についてのお便りは、直接私の手元に届くことになっています。

この新聞はダスキン創業者・鈴木清一が創刊して以来、歴代の社長が表紙の言葉を担当することになっており、私も約10年間担当しています。日頃のふとした体験や生活の中で心に残ったことなどを書き綴っているため、感想をいただくと気恥ずかしい気分にもなり、創業者も同じような気持ちだったのかと思いを巡らせています。

お客様からのお便りを拝読しますと、とても嬉しく心が豊かになります。そして、「表紙の言葉をいつも楽しみにしています」とのお便りをいただく、責任を持って書かなければと、少し気の引き締まる思いにもなりますが、だからと言って背伸びをした内容を書くことはできません。

お便りは、自分の思いを伝えるだけでなく、受け取った人を幸せな気持ちにできるもの。この「喜びのタネまき新聞」は私から皆様へのお便りだと思い、少しでも心が豊かになっていただけるよう、私の気づきをお伝えしていきたいと思えます。



大阪府

深緑に包まれる箕面大滝
※イラストはイメージです

株式会社ダスキン社長

山村輝治



真心こもった
身近な生活用品

河内長野の楊枝

ようじ



楊枝の種類はさまざま。
河内長野市では、今も国内の爪楊枝
取扱量の約70%を占めているそう



楊枝の木の香りが、茶葉子のおいしさを引き立たせる



削りたての黒文字楊枝は、薄緑色と樹皮の黒の対比が美しい



河内長野の楊枝の未来を担う日本つまようじ組合の皆さん



大阪府内でも、河内長野市には豊かな緑が広がる

風土から生まれた 地域の手仕事

大阪府の南東端に位置する河内長野市。大阪都心部から約30分と利便性に優れながら、東は金剛山地、南は和泉山脈が広がる自然豊かな町です。緑に恵まれたこの地には昔から多種多様な樹木が自生し、クロモジと呼ばれるクスノキ科の木が楊枝の原木として重宝されてきました。大正時代に入ると、楊枝作りは地場産業へと発展。昭和の終わり頃には、国内の

爪楊枝のほとんどを河内長野で扱い、農家のおばあちゃんたちが副業として縁側で爪楊枝を削る姿が町のあちこちで見られたそうです。当時から、この道一筋に歩んできた「日本つまようじ組合」会長の稲葉修さんは、「外国産の安価なものに押されて大変な時代もありましたが、爪楊枝に何ができるかを探し続けました」と語ります。楊枝と言っても、白樺で作られた一般的な爪楊枝から、茶道で使われる黒文字楊枝、デン

タルケア用品まで種類はさまざま。組合に所属する地元企業9社もそれぞれ得意分野は異なりますが、「根っこはみんな同じ楊枝。この町に育ててもらったからこそ、河内長野の楊枝を守っていきたい」と話してくれました。

楊枝作りを 夢のある仕事に

現在、組合では地元の小学校で爪楊枝を使った授業を行ったり、市民祭りで爪楊枝を使ったゲームを催したりと、子ども向けの活動に注力しています。組合の広報を務める末延さんは、「自分の町が楊枝の町だと知らない子は多いのですが、授業の最後に『将来、楊枝屋になつてくれる人はいるかな？』と聞くと、みんな元氣いっぱいに手を挙げてくれるんです。うれしいですね」と話します。組合では定期的に集まっては「次はああしよう、こうしよう」と互いにアイデアを出し合い、楊枝の新しい使い道や可能性の探究に余念がありません。

組合員の一人であり、黒文字楊枝の職人である八田さんは「茶菓자에黒文字楊枝を添える文化は、堺出身の千利休が始めたものだそうです。利休自ら、毎回客人をもてなす度に新しく削ったと伝えられており、私も1本1本、心をこめて削っています」と語ります。また、会長の稲葉さんは「丸い形の爪楊枝

を歯のそうじに使うのは、実は世界で日本だけ。ささくれもなく、品質は世界でも屈指です」と教えてくれました。楊枝は決して高価なものではなく、1本1円に満たないものも多々あります。しかし、その1本には安全性や使いやすさなど使う人への思いがこめられているのです。組合の皆さんは、口を揃えて「使う人には、河内長野の楊枝だから安心」と思ってもらいたい。そして、夢のある仕事として地元の子どもたちに受け継いでもらえたら」と熱っぽく話してくれました。

河内長野の自然によって育まれ、地域の人々の手で大切に作られてきた楊枝。生活に欠かせないものとして暮らしに寄り添い、使い道を広げながら、河内長野の大切な資産として受け継がれています。

楊枝のふるさと
大阪府河内長野市

高野山へ至る高野街道の要地として栄えた歴史を持ち、市域7割を森林が占める。奥河内の玄関口とも呼ばれ、盆踊りも盛ん。この時季には独自の「長野音頭」が聞こえてくる。

台所の相談室

スルツとのどごしの良いそうめんはいろいろなレシピを知っておくと、厳しい残暑で食欲がない日の食卓にぴったりです。

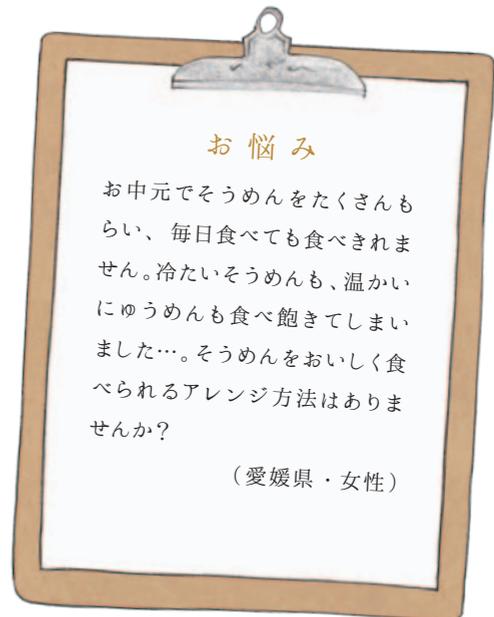
FILE 9

茹で、炒め、具にも使える そうめんの使い道は無量大！



ひだかずを
飛田和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。新刊の『いちばんおいしい野菜の食べ方』（オレンジページ）を始め、著書多数。



お悩み

お中元でそうめんをたくさんもらい、毎日食べても食べきれません。冷たいそうめんも、温かいにゆめんも食べ飽きてしまいました…。そうめんをおいしく食べられるアレンジ方法はありますか？

(愛媛県・女性)

お任せください！何にでもそうめんを入れては、家族から好評だったり、「またそうめん？」と言われたりしながら「そうめん道」を日々進めていますので、とっておきをお伝えしますね。

まず、定番の薬味とつゆから脱してみましよう。トマトソース、フレッシュトマト、たらこ、とろろ、卵黄納豆、梅干しや練り

ゴマ、サバ缶、ツナ缶など、出汁や醤油と合わせておいしいものは絶対に合います。次に、めんつゆに油をたらしめてみてください。香りの良いオリーブオイルやごま油が一滴入ると、味に変化が生まれます。

今回はその応用で、夏野菜の揚げ浸しをつけ汁ごと麺と合わせました。野菜たっぷりでおなかも満足。ぶっかけにしたり、おな

卵黄を落としたり、ちくわなどを刻んで入れてもおいしいです。他にも焼きうどん風に炒める、味噌汁や茶碗蒸しの具にする、サラダや卵焼きに入れるのもおすすめです。つゆを絡めたそうめんを詰めた「稲荷そうめん」も子どもに好評でした。他の麺で作るものは大抵そうめんでもおいしくできますから、身近な素材と組み合わせてください。

Answer Recipe

揚げ浸しそうめん



材料(作りやすい分量)

- なす 3本
- ズッキーニ 1本
- パプリカ 2個
- みょうが 2本
- 揚げ油 適量
- みりん、醤油 各90ml
- 砂糖 小さじ1/2
- 塩 小さじ1/2
- かつお出汁 1〜1.5カップ
- そうめん、薬味 適量

作り方

- 1 みりんを煮切って醤油、砂糖、塩を混ぜ、粗熱がとれたら、出汁と合わせる。
- 2 なす、ズッキーニ、パプリカは1.5cm角くらいに切り、なすは5分ほど水にさらして水気を拭き取る。みょうがは縦に四等分に切る。
- 3 170度の油で野菜を揚げ、①と合わせて30分ほどおく。
- 4 そうめんは表示通りに茹で、冷水にとってよく洗い、水気をしっかり切る。
- 5 そうめんを盛り付け、③をつゆごと器に入れ、薬味を添える。

※余った揚げ浸しは、冷奴や卵とじなどに使える
※薬味は、しそ、みょうが、しょうがなどお好みで

飛田さんってどうですか



そうめん絡むよう、野菜は細かく刻みました。具はピーマンやししとうがらし、オクラとも好相性。なすだけでもOKです。油は切りすぎないこと。めんつゆと合わせるとトロツとします。余った揚げ油は炒め物や、炒め煮の「炒め」に使うと香ばしさがアップします。

台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとしたお悩みを、飛田さんに相談してみませんか？ お便りをお待ちしています。宛先は裏表紙をご覧ください。



ほほえみのひろば



母の親切

岐阜県関市 廣瀬 恵美さん



我が家では、毎年地元の花火大会を川岸まで見に行っています。しかし、その年は途中から雨が降り、傘を差しカッパを着て観賞しました。

そんな中、私たちの近くにいたご家族は、傘1本で雨から子ども2人を守りながら観賞していたため、パパとママはびしょぬれ。それに気付いた私の母は、「これ使って！透明だから花火もよく見えるよ」と、自分の傘をあげたのです。

その後、自分は色つきの傘しかなくて、花火が見えなくなっちゃったと笑っていましたが、そんなことをサツとできる母を尊敬し、私も見習いたいと思いました。

雨の花火とお母様の素敵なのは忘れられない美しい思い出ですね。

初めてのスイカ

鳥取県東伯郡 藤井 美佐恵さん



我が家は、スイカ農家をしています。今年の出荷を無事に終え、北海道に住む孫にもスイカを送ってあげました。生まれて初めてスイカを食べる孫の姿を、娘が送ってくれた動画で何度も見えています。

その後、孫に果物の絵本を見せて「バナナはどれ？」と聞くとバナナの絵を指さし、「ブドウはどれ？」と聞くとブドウを指さし、「スイカは？」と聞くと、冷蔵庫を指さしたそうです。この話を聞き、感動して思わず泣いてしまいました。足が痛い、腰が痛いと言っている私ですが、来年も頑張っ

てスイカ作りをしなければと思います。

お孫さんにとって、一番おいしくて大好きな果物がスイカなんですね。

孫の名言

茨城県小美玉市 長須 千秋さん



私には2歳、小学1年、2年、4年生の四人の孫がいます。皆、とってもかわいくて仕方ありません。

先日、「学校の役員会があるので、子どもたちの面倒を見てほしい」と娘から連絡があり、喜んで孫たちのもとへ。仲良く遊んだ後、昼過ぎに娘が帰ってきて一緒に食事をしました。

その帰りの車中、1年生の孫に「かわいいなあ。なんでこんなにかわいいのかな」と言つと、「ママが悪いんだよ。かわいく産んだから」という言葉が返ってきて、車の中は大爆笑。これはすごい名言だな、と思いました。

なんてピュアな名言！かわいさも倍増ですね。

富士山の夢

富山県氷見市 西田 信彦さん



夏のある日、富士山の夢を見ました。縁起の良い初夢を「富士、三鷹、三茄子」と言うように、私もいつか夢で見てみたいと思っていましたが、本当に見る日がくるとは。夢の中の富士山は黒っぽく荘厳な雰囲気、私は遠くから眺めていました。

その後、職場でテレビを見てみると、夢と同じ黒っぽい富士山が映っていたり、逆さ富士の図柄の図書カードをもらったりと、不思議な偶然が続きました。そして、私の投稿がラジオで読み上げられたり、景品が当たったりと、良いことも続々と起こったのです。

もしかして、これが富士山の力なのでしょう。不思議なことがあるものです。

なんて縁起の良い夢！あやかりたいものです。

朝の挨拶

奈良県生駒郡 吉原 恵美子さん



毎朝リハビリに通う際、通る街があります。その街並みの中で、バスを待つ人、道を掃く人、犬の散歩をする人など、さまざまなお出で会います。名前も知らない方々ですが、私はある日から「おはようございます」と声を掛けるようになりました。すると、皆さん挨拶を返してくださいました。うれしくて、思わず朝から足が軽くなるようです。

すがすがしい挨拶は、行き交う人々の心まで明るくしていると思います！

我が家のペパーミント

佐賀県佐賀市 原口 政子さん



植えたわけでもないのに、いつの間にか自宅の裏庭にペパーミントがどんどん増えて、良い香りがするようになりました。ミントティーにして飲んだり、焼き魚に添えたりして、大活躍。背丈が高くなったものは切ってトイレに置くと、スーツと心地良い香りがして、消臭剤代わりにもなります。

毎日「おはようさん。今日も元気で頑張ろうね」と話しかけながら、水やりをします。小さな白い花もかわいらしく、神様がくれたのかしら？なんて思っています。

お花にも愛情が伝わって喜んで増えているのかも。

機会をつかめ

燈々無尽

しあわせ、とは機会をつかむことだ。

私自身、今難題を

もちかけられて困っている。

不幸に違いない。

しかし、これをチャンスに、

今まで苦しみぬいていたことが、

本来の解決を

せまられているのだとも思う。

不幸をはねかえす

チャンスにすることが

しあわせをつかむことだ。

ダスキン創業者 鈴木清一

愛の輪通信

ダスキンアジア太平洋障害者リーダー育成事業 第21期研修生 アリ・トミー・ヘーゼルマンさん(全言)

日本語を勉強して自分で書きました。ぜひ読んでください！



サモア語の点字もアルファベットに由来しています。サモア語の点字は「Tatofa」といいます。そこで、日本の点字は、標準よりドット(点)のサイズが小さく時々読みにくいのですが、私は日本語や日本語が大好きで、新しい言葉をたくさん覚えたい。そしてパソコンで漢字を覚え、日本語でいろいろな情報を得ました。もしサモアで困っている日本人がいたら、私は手伝うことができると思います。



愛の輪は、日本とアジア太平洋の地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎06-6821-5270 <https://www.ainowa.jp/>



あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆様から送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail : koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

傘似合うでしょ♪



福島県
岩瀬郡
小野
沙織さん



愛猫のレナです



愛媛県新居浜市
田口 由紀さん

ブランコ大好き!



東京都練馬区
磯 愛理さん

アイスおいしいね♪



群馬県
前橋市
新井
美紗子さん

17歳のご長寿ワンコ!

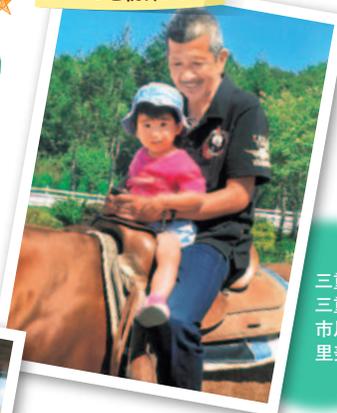


京都府
京都市
青木
真知さん



読者の皆様から送りいただいた
素敵な1枚をご紹介します。

じいじと初乗馬



三重県
三重郡
市川
里美さん

No.419からのバックナンバーが下記の
アドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!

引越しのお手続きは、担当店・Webページ

ダスキンコンタクトセンター **0120-100100** まで



株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp

59-6C 2020.8 3505200